

令和7年度 第4回摂津市立別府小学校 学校運営協議会 議事録

令和7年12月8日(月)18:30~21:00

出席者：校長、教頭、地域代表、保護者代表、

NPO法人担当者（コミュニティ・スクール推進業務CO）自治会代表

場所：別府小学校 視聴覚室

《学校からの報告》

校長より、11月以降の学校の取組について報告がありました。

◇地域行事と児童参加について

地区防災訓練やクリーン作戦など、地域行事は多く行われているものの、小学生の参加が少数にとどまっている現状が報告されました。今後は、学校からの周知や教員による声かけを工夫し、「地域とともにある学校」として、子どもたちが地域活動に関われる機会を増やしていきたいという方針が示されました。

◇学校教育自己診断(11月実施)

「学校が楽しい」「安心できる居場所がある」と感じる児童・保護者が増えている一方、家庭学習や地域貢献意識については今後も継続した取組が必要であることが共有されました。

◇朝プロジェクト(登校時刻の見直し)

12月より児童玄関の開門時刻を8時15分に前倒しし、朝の落ち着いた時間づくりを進めています。今後は児童アンケートなどを通して、より良い形を検討していく予定です。

PTA・地域からの報告

- ・ 地域イベントへの出店を通して、PTA活動の発信と地域とのつながりづくりを行いました。
 - ・ 収益については、今後の学校支援に活用していく予定です。
 - ・ PTA会費の使い方についても、「分かりやすく伝えることが大切」という意見が共有されました。
-

クラウドファンディングについて

視聴覚室へのカーペット敷設を目的としたクラウドファンディングについて、現在の支援状況と課題が共有されました。

- ・ 「完成後、どのように使われるのかが分かりにくい」
- ・ 「子どもたちや地域がどのように関わられるのかをもっと伝える必要がある」

といった声があり、今後は、活用イメージを具体的に示しながら、学校・PTA・地域が

連携して進めていくことが確認されました。

«自治会長の皆様からのご意見・思い»

今回は、連合自治会長をはじめ、各地区の自治会長が参加され、地域としての率直な思いや期待が多く語られました。

◇「地域として、できる限り学校を支えていきたい」

自治会としても、学校と連携しながら子どもたちを支えたいという強い思いが示されました。学校での取組や考えを、自治会の中でも伝えていきたいという前向きな意見が出されました。

◇地域活動と子どもたちの関わりについて

これまで見守り活動や地域行事についても、「負担」「責任」「事故が起きたときの対応」など、現実的な課題があることが率直に語られました。一方で、

「それでも、子どもたちが地域と関わることには大きな意味がある」
という共通した認識が示されました。

◇クラウドファンディングについて

金額の大小だけで進めるのではなく、「どのような思いで、どのような学校づくりをしていくのかを丁寧に示すことが大切」という意見が多く出されました。企業支援だけに頼るのではなく、地域としてどう関わるのかを大切にしたいという考えも共有されました。

まとめ

今回の学校運営協議会では、

- 学校の現状と課題の共有
- 地域活動への児童参加の在り方
- 自治会長の皆様からの学校への温かい思いと率直なご意見
- クラウドファンディングを通した学校支援の方向性

について、時間をかけて協議が行われました。

特に、「地域として学校を支えたい」「子どもたちと地域をつなげていきたい」という自治会長の皆様の思いが強く共有された協議会となりました。

今後も、「誰もが楽しく幸せに学べる別府小学校」の実現に向けて、学校・地域・PTAが連携しながら取組を進めていきます。